

平成 29 年 10 月 2 日

公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構

JADA と東京 2020 組織委員会、東京 2020 大会の成功に向け、 アンチ・ドーピングに関する覚書を締結

公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構（以下、JADA）は、10月2日（月）、公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会（以下、組織委員会）とアンチ・ドーピングに関する覚書を締結しました。

JADA は、日本国内で唯一のアンチ・ドーピング専門機関であり、国内外における様々な総合競技大会におけるドーピング検査の実施に関する豊富な経験と知識を有しています。本覚書に基づき、東京 2020 大会を参加する全てのアスリートが正々堂々と闘える“クリーン”な競技大会とするため、JADA と組織委員会がそれぞれの資源および実績等を活用しながら、相互に連携して運営準備を進めていきます。

両者は、以下の役割分担に基づき、それぞれの担当部署を通じて連携・協力を図ります。

■JADA の役割

- ・ ドーピング検査員（DCO）等の評価および資格認定、人選にあたっての助言、その他情報提供
- ・ DCO およびシャペロンの研修
- ・ 大会に対応できる検査室マネージャー（DCSM）及びシャペロンコーディネーターの育成（実地研修を含む）
- ・ コマンドセンター及び会場の管理・運営等への必要な協力提供

■組織委員会の役割

- ・ 期間中のドーピング検査の準備および実施
- ・ 検査の全体計画および手順等の策定
- ・ コマンドセンターの管理および運営
- ・ DCO 及びボランティア（シャペロン）の人選
- ・ DCSM、シャペロンコーディネーターの人選
- ・ DCO 等講習会/研修会準備・運営のサポート

以 上

【本リリースお問合わせ先】

公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構 企画・広報グループ TEL 03-5963-8030